



## 乳腺外科学講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2022-06-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001222">https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001222</a>

鈴木弘行. 「rfc 命を守るキャンペーンーふくしま ゼロ アクション」出演. ラジオ福島; 20200420; 福島.

鈴木弘行. Panel discussion パネリスト. I-O Next Steps Seminar; 20200711; 東京.

武藤哲史. ディスカッション「症例で考える免疫チェックポイント阻害薬における irAE のポイント」ディスカッション. 第1回 irAE を考える会 in 福島; 20200821; 福島/Web.

鈴木弘行. 症例発表・ディスカッションタイム パネリスト. 福島県肺がんシンポジウム; 20201015; Web.

## 乳腺外科学講座

### 論 文

#### 〔原 著〕

Oshi M, Okano M, Maiti A, Rashid OM, Saito K, Kono K, Matsuyama R, Endo I, Takabe K. Novel Breast Cancer Brain Metastasis Patient-Derived Orthotopic Xenograft Model for Preclinical Studies. *Cancers*. 202002; 12(2):444.

Hait NC, Maiti A, Xu P, Qi Q, Kawaguchi T, Okano M, Takabe K, Yan L, Luo C. Regulation of hypoxia-inducible factor functions in the nucleus by sphingosine-1-phosphate. *FASEB Journal*. 202003; 34(3):4293-4310.

Okano M, Nomizu T, Tachibana K, Nagatsuka M, Matsuzaki M, Katagata N, Ohtake T, Yokoyama S, Arai M, Nakamura S. The relationship between BRCA-associated breast cancer and age factors: an analysis of the Japanese HBOC consortium database. *Journal of Human Genetics*. 20201012; doi: 10.1038/s10038-020-00849-y.

Okano M, Oshi M, Butash A, Okano I, Saito K, Kawaguchi T, Nagahashi M, Kono K, Ohtake T, Takabe K. Orthotopic Implantation Achieves Better Engraftment and Faster Growth Than Subcutaneous Implantation in Breast Cancer Patient-Derived Xenografts. *Journal of Mammary Gland Biology and Neoplasia*. 202003; 25(1):27-36.

大竹徹. マンモグラフィ検診で見逃すべき乳癌. *山形県医師会学術雑誌*. 202007; 58:22-30.

#### 〔症例報告〕

Muto M, Satake T, Masuda Y, Kobayashi S, Tamura S, Kobayashi S, Ohtake T, Maegawa J. Absent Internal Mammary Recipient Vein in Autologous Breast Reconstruction. *Plastic and Reconstructive Surgery*

Global Open. 202002; 8(2):e2660.

長塚美樹, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 二瓶光博, 野水整. 卵巣癌術後化学療法が完全奏効した HBOC 乳癌の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌. 202006; 81(6):1059-1064.

## 著 書・訳 書

立花和之進, 大竹徹. がん免疫療法 乳がん. In: 日本バイオセラピー学会「よくわかるがん免疫療法ガイドブック—患者さんご家族のために—」作成ワーキンググループ 編集. よくわかるがん免疫療法ガイドブック—患者さんご家族のために—. 東京: 金原出版; 202009. p.85-88.

## 研究発表等

### 〔研究発表〕

Saji S, Taira N, Morita S, Kitada M, Takano T, Takada M, Ohtake T, Toyama T, Kikawa Y, Hasegawa Y, Fujisawa T, Kashiwaba M, Ishida T, Nakamura R, Yamamoto Y, Toh U, Iwata H, Masuda N, Ohno S, Toi M. Patient-reported outcomes of a switch to maintenance endocrine therapy following induction chemotherapy versus continuation of chemotherapy in ER-positive HER2-negative metastatic breast cancer: a randomized, open-label, phase 2 clinical trial. ESMO Virtual Congress 2020; 20200917; Web.

根本大樹, 歌野健一, 勝木伸一, 満崎克彦, 愛澤正人, 中島勇貴, 根本鉄太郎, 五十畑則之, 星信大, 遠藤俊吾, 富樫一智. 2 cm以上の LST に対する大腸 CT 検査の精度検証: post hoc 解析. 第 92 回大腸癌研究会; 20200124; 広島. 抄録集. 28.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 星信大, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 大腸癌根治度 A 切除後のサーベイランスの問題点. 第 92 回大腸癌研究会; 20200124; 広島. 抄録集. 73.

岡野舞子, 勝部暢介, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 当科において乳癌術前に BRCA1/2 遺伝学的検査を行った症例の検討. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会; 20200703-05; Web.

岡野舞子, Oshi M, 立花和之進, 岡山洋和, 河野浩二, 大竹徹, 高部和明. アネキシン A1 の高い発言を伴うトリプルネガティブ乳癌はマスト細胞浸潤, 炎症, および血管新生と関連する. 第 120 回日本外科学会定期学術集会; 20200813-15; Web.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 根本鉄太郎, 星信大, 富樫一智, 町野翔, 押部郁朗, 添田暢俊, 樋口光徳, 齋藤拓朗. 術前化学療法および切除不能大腸癌に対する FOLFOXIRI+Bevacizumab 療法の評価. 第 120 回日本外科学会定期学術集会; 20200815; 横浜. Web 抄録集. DP-164.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 星信大, 富樫一智. 切除不能大腸癌化学療法における好中球リンパ球比の経時的な変化について. 第 120 回日本外科学会定期学術集会; 20200815; 横浜. Web 抄録集. DP-240.

岡野舞子. 留学体験記—Big data を乳癌の新しい診断と治療につなげる. 第 4 回福島県乳癌外科研究会; 20200828; Web.

阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 佐藤直, 鈴木伸康, 立花和之進, 大竹徹. 乳癌の消化管転移に対し CDK4/6 阻害薬を初期治療として使用した 3 症例. 第 28 回日本乳癌学会学術総会; 20201009-31; Web.

阿部貞彦, 野田勝, 星信大, 村上祐子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 中村泉, 大竹徹. 術前薬物療法を施行した局所進行乳癌 (Stage III) の検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会; 20201009-31; Web.

岡野舞子, 大竹徹, 高部和明. 80 代の乳癌は M2 マクロファージや制御性 T 細胞のより高い浸潤および低い生存率に関連する. 第 28 回日本乳癌学会学術総会; 20201009-31; Web.

片方直人, 松崎正實, 長塚美樹, 岡野舞子, 大河内千代, 野水整, 二瓶光博, 佐治重衡. CDK4/6 阻害薬を使用した進行再発乳癌 30 例の治療成績. 第 28 回日本乳癌学会学術総会; 20201009-31; Web.

佐藤孝洋, 阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 鈴木伸康, 佐藤直, 立花和之進, 大竹徹. 鎖骨上下リンパ節転移, 脳神経叢浸潤による神経障害に対し緩和放射線療法を施行した 3 症例. 第 28 回日本乳癌学会学術総会; 20201009-31; Web.

立花和之進, 稲野彰洋, 趙松吉, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 阿部宣子, 佐々木茂貴, 大竹徹. 放射活性標識を用いた核酸医薬の組織内動態の技術構築. 第 28 回日本乳癌学会学術総会; 20201009-31; Web.

長塚美樹, 野水整, 岡野舞子, 大河内千代, 松崎正實, 片方直人, 二瓶光博, 喜古雄一郎, 橋本優子, 本間美和子. 乳癌における新規予後規定因子 CK2 の検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会; 20201009-31; Web.

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 阿部宣子, 吉田清香, 中村泉, 大竹徹. 福島県におけるマンモグラフィ併用乳がん検診の成績. 第 28 回日本乳癌学会学術総会; 20201009-31; Web.

星信大, 立花和之進, 植村武文, 村上祐子, 阿部宣子, 野田勝, 阿部貞彦, 和栗聡, 大竹徹. 乳癌におけるクラスリンアダプターの発現様式と臨床病理学的因子の関連性について. 第 28 回日本乳癌学会学術総会; 20201009-31; Web.

松崎正實, 片方直人, 長塚美樹, 岡野舞子, 野水整, 二瓶光博, 橋本優子, 佐治重衡. 乳癌における術前抗がん剤治療後の病理学的形質転換症例の検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会; 20201009-31; Web.

村上祐子, 杉本幸太郎, 阿部貞彦, 星信大, 野田勝, 立花和之進, 阿部宣子, 佐治重衡, 千葉英樹, 大竹徹. CLDN4 の乳癌悪性形質増強機構の解明. 第 28 回日本乳癌学会学術総会; 20201009-31; Web.

片方直人, 松崎正實, 長塚美樹, 岡野舞子, 大河内千代, 野水整, 二瓶光博. CDK4/6 阻害剤を使用した進行再発乳癌 21 例の検討. 第 17 回福島県乳癌研究会; 20201017; Web.

叶多諒, 阿部宣子, 野田勝, 星信大, 村上祐子, 立花和之進, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 急速増大をきたした悪性が疑われた稀な乳癌巨大腫瘍の 2 例. 第 17 回福島県乳癌研究会; 20201017; Web.

立花和之進. ER 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌に対する分子標的薬を用いた治療戦略. 第 17 回福島県乳癌研究会; 20201017; Web.

野田勝, 叶田諒, 星信大, 村上祐子, 立花和之進, 阿部宣子, 大竹徹. HER2 陽性転移・再発乳癌に対するペバシズマブ併用療法の使用経験. 第 17 回福島県乳癌研究会; 20201017; Web.

松本木綿子, 阿左見亜矢佳, 佐藤直, 鈴木伸康, 寺西寧, 和田仁, 阿左見祐介, 野水整, 大竹徹. 乳癌脊髄内転移に対し放射線療法が著効した進行乳癌の 1 例. 第 17 回福島県乳癌研究会; 20201017; Web.

阿部貞彦, 野田勝, 星信大, 村上祐子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 超音波ガイド下吸引式針生検で術前診断を得た悪性葉状腫瘍の 1 例. 第 58 回日本癌治療学会学術集会; 20201022-24; 京都.

立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 阿部宣子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 乳癌悪性腺筋上皮腫の 1 例. 第 58 回日本癌治療学会学術集会; 20201022-24; 京都.

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹徹. 局所進行乳癌 (Stage III) の治療成績. 第 58 回日本癌治療学会学術集会; 20201022-24; 京都.

鈴木昭彦, 佐藤章子, 喜古雄一郎, 立花和之進, 篠原範充, 白岩美咲. マンモグラフィ読影解説. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20201122-23; 仙台.

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹徹. 福島県における対策型乳癌がん検診の取り組みと成績. 第 30 回乳癌検診学会学術総会; 20201122-23; 仙台.

松寄正實, 長塚美樹, 岡野舞子, 後藤かおり, 片方直人, 野水整, 二瓶光博. 高濃度乳腺被検者の適切な検診モダリティ選択への取り組み. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20201122-23; 仙台.

## [シンポジウム]

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹徹. 局所進行乳癌 (Stage III) の臨床病理学的検討. 第 17 回日本乳癌学会東北地方会; 20200307; Web.

大竹徹. 乳腺の診断「マンモグラフィの有用性とピットフォール」. 第 69 回日本医学検査学会; 20200905-06; 千葉/Web.

長塚美樹, 岡野舞子, 後藤かおり, 大河内千代, 松寄正實, 片方直人, 野水整. パネルディスカッション 14 「HBOC を考えるー最適な治療方針とはー」 HBOC に対する BRCA 遺伝学的検査の疾病・病診連携. 第 82 回日本臨床外科学会総会; 20201029-31; Web.

徳田恵美, 阿左見亜矢佳, 片方直人, 立花和之進. イブランスの適格症例について考えるー3 年間の経験からー (パネルディスカッション). 福島県乳がんオンライン講演会ーイブランス 3 周年記念オンライン講演会ー; 20201113; Web.

岡野舞子. 家族歴から遺伝性乳癌を疑い、遺伝子学的検査後に予定術式を変更した1例. 郡山 Breast Cancer Workshop; 20201204; Web.

#### 〔特別講演〕

大竹徹. 乳がんを学ぼう (特別講演). 令和2年度福島県保健衛生協会研修会; 20200406; 福島.

木村隆, 河野浩二, 鈴木眞一, 横山斉, 鈴木弘行, 大竹徹, 丸橋繁, 田中秀明. 外科系新専門医制度のあるべきグランドデザイン Generality と Specialty のバランスのとれた外科医の育成を目指して—なんでもできる外科医の魅力をもう一度—. 第120回日本外科学会定期学術集会; 20200813-15; Web.

大竹徹. がんを学ぶ (特別講演). 令和2年度県北地区健康教育推進者研修会; 20200903; 伊達.

大竹徹. 福島県のがん対策について (特別講演). 第3回福島県がんシンポジウム; 20200905; 福島.

立花和之進. HER2 陽性乳癌における治療戦略—カドサイラによる術後補助療法を中心に—. Fukushima Breast Cancer Symposium; 20200925; Web.

大竹徹. がんを学ぶ (特別講演). 令和2年度相双地区健康教育推進者研修会; 20201001; 富岡町.

立花和之進. Beyond the HBOC—HBOC 診療の現状とこれからの課題—. Breast Cancer Medical Staff Seminar; 20201107; 郡山.

立花和之進. 乳癌と女性ホルモンの関係. 第45回内分泌グランドカンファレンス; 20201208; 福島.

#### 〔招待講演〕

立花和之進. 乳癌とホルモン療法について. アストラゼネカ株式会社オンライン社内研修会; 20200623; Web.

星信大. 乳がんを学ぶ. 学生がん予防サポーター養成セミナー (福島学院大学こども学科); 20201218; Web.

星信大. 乳がんを学ぶ. 学生がん予防サポーター養成セミナー (福島学院大学福祉心理学科); 20201222; Web.

#### 〔その他〕

村田陽子, 山川卓, 吉田雅行, 大田浩司, 立花和之進, 玉城研太郎, 野村長久. 乳癌検診学会広報委員会ニュースメールの10年とアンケート調査の報告. 第30回日本乳癌検診学会学術総会; 20201122-23; 仙台.

吉田雅之, 山川卓, 大田浩司, 立花和之進, 玉城研太郎, 野村長久, 村田陽子. 広報委員会のこれまでの活動と今後の課題. 第30回日本乳癌検診学会学術総会; 20201122-23; 仙台.